タンク選定上の手順

タンクを選定する際の一般的なフローを以下にまとめます。
様々な要因によって最適な装備は異なりますので、詳しくは弊社までお気軽にご相談ください。なお、右ページに希望する仕様をご記入の上、弊社までFAXして頂きますと概算見積の他、よりお客様のニーズにあわせたご提案もさせて頂きます。

1 耐薬品性・液温度の確認	使用する内容液と液温度を確認し、ポリエチレンの耐化学薬品性表（別冊）にて使用可能であることを確認してください。
2 液比重の確認	使用する内容液の液比重を確認してください。水溶液の場合、濃度によって比重は異なりますので、ご注意ください。
3 補強枠の有無その仕様の選定	内容液の比重と液温度を基に、補強枠が必要かどうか、必要な場合は標準枠か全面枠かを確認した上、その材質（鉄製、亜鉛メッキ鋼板、亜鉛のドブ漬、ステンレス製）を選定してください。特に指定塗装色がない場合は、下塗、上塗各１回（膜厚名１５μ以上）で色はマンセルN7の弊社基準塗装仕様になります。
4 タンク設置場所の確認	使用場所は屋内か屋外か、設置できる基礎面や搬入経路のスペースはどれくらい確保できるか（特に屋内に入れる場合の間口等）を確認します。
5 タンク型式の選定	密閉型か開放型か?完全液出しが必要か?補強枠は必要か?…などの条件に従って、タンク型式を選定してください。
6 マンホール又はフタの選定	密閉型タンクを選定された際、内容液からガスが発生するものについては密閉式マンホール（塩酸マンホール）をご指定ください。標準仕様のねじ込み式マンホールには、チェーンロックを装着できます。開放型タンクの場合は、フタの有無、材質（PE、PVC）を選定してください。
7 梯子の選定	梯子を装備する場合はプロテクターの有無、材質（鉄製、亜鉛のドブ漬、ステンレス製）の選定をしてください。特に指定塗装色の指示がない場合は、下塗、上塗各１回（膜厚名１５μ以上）で色は梯子のみの場合はマンセルN７、プロテクター付の場合は2.5Y8/12の弊社標準塗装仕様になります。
8 保護柵の選定	保護柵を装備する場合は材質（鉄製、亜鉛のドブ漬、ステンレス製）の選定をしてください。特に指定塗装色の指示がない場合は、下塗、上塗各１回（膜厚名１５μ以上）で色は2.5Y8/12の弊社標準塗装仕様になります。
9 SS部の塗装	お客様の指定塗装色がある場合は、塗料の種類、日本塗料工業会の色番号もしうくはマンセル値で色と塗装仕様（膜厚など）を確認してください。特に指定塗装色の指示がない場合は、弊社標準塗装仕様になります。
10 ノズル・エア抜きの選定	液入口、液出口、ドレン、液面計、電極座、予備座など、ノズルの数とサイズを選定してください。密閉型のタンクには、エア抜きが必要です。入口又は出口の大きい方と同サイズ以上のものを基準としてください。塩酸などガスが出る内容液の場合、ヒュームスクラバー用にガス出口としてフランジを選定してください。ノズルオリエンテーション（ノズル取付位置）の記入は右図をご使用ください。